



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月9日

上場会社名 東京汽船株式会社
 コード番号 9193 URL <http://www.tokyokisen.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齊藤 宏之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 佐藤 晃司

TEL 045-671-7713

四半期報告書提出予定日 2019年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	2,920	3.7	29	85.0	172	43.7	142	37.7
2019年3月期第1四半期	3,032	0.2	196	19.9	306	8.2	229	0.8

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 126百万円 (37.1%) 2019年3月期第1四半期 201百万円 (35.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	14.36	
2019年3月期第1四半期	23.03	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	27,566	21,345	73.8
2019年3月期	27,803	21,478	73.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 20,351百万円 2019年3月期 20,485百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				25.00	25.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,220	3.3	269	51.2	425	43.9	376	36.0	37.86
通期	12,382	2.6	425	51.9	720	42.6	569	43.4	57.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	10,010,000 株	2019年3月期	10,010,000 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	62,902 株	2019年3月期	62,867 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	9,947,115 株	2019年3月期1Q	9,947,133 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、米中貿易摩擦の影響による中国経済の減速の煽りを受け輸出は減少に転じました。また、米国のイランへの経済制裁や日韓関係悪化により世界経済の下振れリスクが懸念されております。個人消費は、雇用・所得環境に改善がみられたものの消費は盛り上がり欠ける展開となりました。

当社グループの主たる事業である曳船事業を取り巻く状況につきましては、製造業を中心に輸出産業が低迷するなか、東京湾への入出港船舶数は減少いたしました。

このような経済環境のなかで、当社グループは総力を上げて業績向上に努めましたが、売上高は前年同期に比べ111百万円減収の2,920百万円（前年同期比3.7%減）となりました。

利益面では、原油価格は落ち着いた展開となり燃料費は横ばいに推移しましたが、減価償却費の増加に加え曳船事業の減収が響き、営業利益は29百万円（前年同期比85.0%減）、経常利益は172百万円（前年同期比43.7%減）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に発生した固定資産売却益（曳船の売却益）が当第1四半期はなかったために142百万円（前年同期比37.7%減）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりです。

曳船事業

曳船事業は、横浜川崎地区では、大型タンカーや鉱石船以外の船種の入出港数が軒並み減少しましたが、大型船への作業増加や休日割増が適用されるゴールデンウィーク期間が長かった影響もあり売上高はほぼ横ばいとなりました。東京地区では、コンテナ船の入出港数が減少し大幅な減収となりました。横須賀地区では、LNG船の入港数減少が響きエスコート作業や荷役中の警戒作業が減少し減収となりました。千葉地区でも同様に、タンカーやLNG船等の危険物船やバルカーの入出港数が減少し減収となりました。

この結果、曳船事業セグメントの売上高は108百万円の減収となり2,079百万円（前年同期比4.9%減）となりました。

次に利益面では、減収に加え営業費用のうち用船料や減価償却費が増加し、営業利益は168百万円減少し23百万円（前年同期比87.9%減）となりました。

旅客船事業

旅客船事業は、横浜港における観光船部門では、第1四半期は10連休となったゴールデンウィーク期間中の利用客が増加し増収となりましたが、交通船の減収が響きほぼ横ばいに留まりました。

久里浜・金谷間を結ぶカーフェリー部門でも同様に、ゴールデンウィーク期間中の利用客が増加し増収となりました。

この結果、旅客船事業セグメントの売上高は12百万円増加し660百万円（前年同期比1.9%増）となりました。

利益面では、営業費用が前年同期とほぼ同水準に推移したため、営業利益は6百万円増加し11百万円（前年同期は4百万円の営業利益）となりました。

売店・食堂事業

売店・食堂事業は、旗艦店の金谷センターでは昨年から続いている団体利用客の減少に歯止めがかからず、売上高は15百万円減少し180百万円（前年同期比8.0%減）となり、5百万円の営業損失（前年同期は7百万円の営業利益）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、236百万円減少し27,566百万円となりました。

流動資産の部では、現金及び預金が570百万円増加しましたが、売掛金が397百万円減少し、その他流動資産が353百万円減少いたしました。固定資産の部では、船舶は償却が進み256百万円減少し、設備投資により建設仮勘定が179百万円増加し、繰延税金資産が65百万円増加いたしました。

負債は、前連結会計年度末に比べ、104百万円減少し6,220百万円となりました。流動負債の部では、支払手形及び買掛金が240百万円減少し、未払法人税等が191百万円減少し、賞与支給が7月であるため賞与引当金が157百万円増加いたしました。固定負債の部では、長期借入金が30百万円減少し、特別修繕引当金が42百万円増加いたしました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、132百万円減少し21,345百万円となりました。これは主に剰余金の配当を248百万円実施し、親会社株主に帰属する四半期純利益が142百万円となったことで利益剰余金が105百万円減少し、その他有価証券評価差額金が36百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の73.7%から73.8%と0.1ポイント増加いたしました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現在までの連結業績は、概ね当初予想の範囲内で推移しており、第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2019年5月15日に公表いたしました発表数値から修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,554,954	12,125,611
売掛金	2,382,914	1,985,672
商品	21,991	22,766
貯蔵品	92,966	89,977
その他	617,554	263,559
貸倒引当金	△2,856	△3,100
流動資産合計	14,667,524	14,484,487
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	239,302	235,174
船舶（純額）	6,061,535	5,805,354
土地	1,435,628	1,435,628
その他（純額）	239,428	417,902
有形固定資産合計	7,975,895	7,894,060
無形固定資産		
	68,395	65,116
投資その他の資産		
投資有価証券	1,831,661	1,784,044
関係会社株式	2,677,474	2,688,951
繰延税金資産	202,572	268,074
その他	482,822	484,762
貸倒引当金	△103,247	△103,247
投資その他の資産合計	5,091,283	5,122,585
固定資産合計	13,135,574	13,081,762
資産合計	27,803,098	27,566,250

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,022,385	781,920
短期借入金	1,528,584	1,543,584
未払法人税等	262,094	70,532
役員賞与引当金	40,000	10,000
賞与引当金	211,841	369,307
その他	309,541	494,770
流動負債合計	3,374,446	3,270,114
固定負債		
長期借入金	345,923	315,111
役員退職慰労引当金	496,311	471,621
特別修繕引当金	379,244	421,777
退職給付に係る負債	1,515,212	1,529,046
繰延税金負債	133,499	130,784
資産除去債務	3,151	3,162
負ののれん	2,373	—
その他	74,646	78,895
固定負債合計	2,950,361	2,950,398
負債合計	6,324,808	6,220,513
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,500	500,500
資本剰余金	75,357	75,357
利益剰余金	19,849,186	19,743,316
自己株式	△45,234	△45,260
株主資本合計	20,379,809	20,273,912
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	222,785	185,896
繰延ヘッジ損益	△42,318	△46,271
為替換算調整勘定	△21,816	△15,470
退職給付に係る調整累計額	△52,627	△46,811
その他の包括利益累計額合計	106,023	77,343
非支配株主持分	992,457	994,481
純資産合計	21,478,289	21,345,737
負債純資産合計	27,803,098	27,566,250

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	3,032,181	2,920,338
売上原価	2,344,153	2,406,652
売上総利益	688,027	513,686
販売費及び一般管理費		
販売費	73,271	71,110
一般管理費	418,110	413,069
販売費及び一般管理費合計	491,381	484,180
営業利益	196,645	29,505
営業外収益		
受取利息	213	237
受取配当金	25,434	23,466
負ののれん償却額	2,373	2,373
持分法による投資利益	74,026	108,840
その他	17,822	13,220
営業外収益合計	119,870	148,137
営業外費用		
支払利息	4,895	4,649
貸倒引当金繰入額	3,999	—
その他	1,446	518
営業外費用合計	10,342	5,167
経常利益	306,174	172,475
特別利益		
固定資産売却益	64,634	—
特別利益合計	64,634	—
税金等調整前四半期純利益	370,808	172,475
法人税、住民税及び事業税	145,842	75,139
法人税等調整額	△43,882	△59,153
法人税等合計	101,960	15,985
四半期純利益	268,848	156,490
非支配株主に帰属する四半期純利益	39,786	13,682
親会社株主に帰属する四半期純利益	229,062	142,807

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	268,848	156,490
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,921	△37,803
繰延ヘッジ損益	—	△3,952
退職給付に係る調整額	2,529	5,816
持分法適用会社に対する持分相当額	△59,580	6,345
その他の包括利益合計	△66,973	△29,593
四半期包括利益	201,874	126,896
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	163,497	114,128
非支配株主に係る四半期包括利益	38,377	12,768

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	合計 (注)
	曳船事業	旅客船事業	売店・食堂事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,187,774	648,242	196,163	3,032,181	—	3,032,181
セグメント間の内部売上高 又は振替高	705	14,280	1,096	16,081	△16,081	—
計	2,188,480	662,522	197,259	3,048,262	△16,081	3,032,181
セグメント利益	191,896	4,679	69	196,645	—	196,645

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	合計 (注)
	曳船事業	旅客船事業	売店・食堂事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,079,599	660,244	180,494	2,920,338	—	2,920,338
セグメント間の内部売上高 又は振替高	641	10,004	1,129	11,775	△11,775	—
計	2,080,241	670,249	181,623	2,932,113	△11,775	2,920,338
セグメント利益又は損失(△)	23,254	11,295	△5,044	29,505	—	29,505

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。